

科目名	シャシ整備実習 1						年度	2026	
英語科目名	Chassis maintenance exercises 1						学期	前期	
学科・学年	一級自動車整備科 2年次	必/選	必	時間数	72	単位数	2	種別※	実習+実技
担当教員	坏裕光、大瀧昇利、和田浩、村木亮治、馬場俊介、丸岡慎、非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		一級自動車整備士、自動車整備士		
【科目の目的】 実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術の理解。									
【科目の概要】 実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術を学びます。									
【到達目標】 自動車のシャシ関係の基礎知識・基礎構造・基礎整備を身につけ、自動車整備の基本であるブレーキ装置やタイヤ・ホイールの点検整備を正確に行えるようになること、ブレーキ装置や動力伝達装置及びタイヤ・ホイールの点検整備を通じて正しい工具の取り扱いを身に付けること、実習を通じてチームワークを学び協調性を身に付けることにより、安全で正確な点検整備作業が出来るようになることを目標とする。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	安全作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	安全作業について積極的に学び、理解することができる	安全作業について学び、理解することができる	安全作業について理解できない	安全作業について理解する姿勢がない				
到達目標 B	動力伝達装置について積極的に学び、発展的な解釈ができる	動力伝達装置について積極的に学び、理解することができる	動力伝達装置について学び、理解することができる	動力伝達装置について理解できない	動力伝達装置について理解する姿勢がない				
到達目標 C	操縦装置について積極的に学び、発展的な解釈ができる	操縦装置について積極的に学び、理解することができる	操縦装置について学び、理解することができる	操縦装置について理解できない	操縦装置について理解する姿勢がない				
到達目標 D	車軸装置・緩衝装置について積極的に学び、発展的な解釈ができる	車軸装置・緩衝装置について積極的に学び、理解することができる	車軸装置・緩衝装置について学び、理解することができる	車軸装置・緩衝装置について理解できない	車軸装置・緩衝装置について理解する姿勢がない				
到達目標 E	シャシ分野について積極的に学び、発展的な解釈ができる	シャシ分野について積極的に学び、理解することができる	シャシ分野について学び、理解することができる	シャシ分野について理解できない	シャシ分野について理解する姿勢がない				
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験を総合的に評価（100%）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		シャシ整備実習 1			年度	2026
英語表記		Chassis maintenance exercises 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	タイヤ・ローテーション及びリフト操作	リフト操作を理解しタイヤローテーションができるようになる	1 安全作業	各項目の理解□	2	
			2 リフト操作方法	各項目の理解□		
			3 操作時注意転	各項目の理解□		
2	ブレーキ整備作業	実車を用いて実践的なブレーキ装置の整備技術を身に着ける	1 分解	各項目の理解□	2	
			2 点検	各項目の理解□		
			3 組み立て	各項目の理解□		
3	サスペンション及びディファレンシャル①	実車を用いて自動車のサスペンションやディファレンシャルの整備ができるようになる	1 分解	各項目の理解□	2	
			2 点検	各項目の理解□		
			3 組み立て	各項目の理解□		
4	サスペンション及びディファレンシャル②	実車を用いて自動車のサスペンションやディファレンシャルの整備ができるようになる	1 分解	各項目の理解□	2	
			2 点検	各項目の理解□		
			3 組み立て	各項目の理解□		
5	1 2 か月点検①	法定12か月の点検内容を理解する	1 点検作業	各項目の理解□	2	
6	1 2 か月点検②	法定12か月点検の作業手順を理解する	1 点検作業	各項目の理解□	2	
7	1 2 か月点検③	法定12か月点検の作業手順を理解する	1 点検作業	各項目の理解□	2	
8	1 2 か月点検④	法定12か月点検の点検作業ができるようになる	1 点検作業	各項目の理解□	2	
9	ブレーキ装置整備演習	実車を用いて実践的なブレーキ装置の整備技術を身に着ける	1 分解	各項目の理解□	2	
			2 点検	各項目の理解□		
			3 組み立て	各項目の理解□		
10	総合整備作業	実車を用いて実践的な各装置の整備技術を身に着ける	1 分解	各項目の理解□	2	
			2 点検	各項目の理解□		
			3 組み立て	各項目の理解□		
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等